



ROCK PAINT

018ライン

ダイナロック®Ⅲ

弱溶剤一液架橋型NADウレタン樹脂塗料

耐候性が良く用途が幅広い
弱溶剤型でにおいもマイルド
防藻・防カビ剤入りで硬化性良好
鉛・クロムなどの重金属を配合せず、環境にやさしい

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます

コンクリート

鉄・非鉄金属

F R P

木 部

硬質塩ビ



ロックペイント 株式会社

ダイナロック®Ⅲ

特 長

1. 環境配慮型（F☆☆☆☆）

原料として鉛・クロムなどの有害な物質を配合せず、ホルムアルデヒドの放散もほとんどありません。

2. 耐候性

ウレタン樹脂が有する特長と特殊架橋により、すぐれた耐候性を発揮します。

3. 防藻・防カビ性

防藻・防カビ効果で、藻やカビの発生を抑えて長期の美観を維持します。

4. 一液型

二液型のような配合の手間やミスがなく、可使時間の制限もないため、塗料を無駄にすることがありません。

5. 一液ウレタン樹脂

塗り重ねられるまでの時間が短く、ちぢみも起こりにくいため、低温時でも安心して塗装できます。

6. 弱溶剤・においがマイルド

改修時は下地や旧塗膜を侵すことなく塗装でき、作業環境にやさしい塗料です。

7. 塗装作業性良好

ハケ・ローラーの塗装作業性が良く、高塗着性のため隠ぺい性にすぐれます。

8. 低汚染性

表面が緻密で汚れのつきにくいウレタン架橋塗膜を形成します。

用途（適応素地）

屋内外の塗装面

素地	コンクリート・モルタル	鉄部	亜鉛メッキ	アルミ	木部	硬質塩ビ	軟質塩ビ	FRP	アクリル板
新設及び塗替特性	○	○ (注1)	○ (注1)	○ (注1)	○ (注2)	○	×	○ (注3)	×

注1：金属部に塗装する場合、下塗りに適性のあるサビ止めペイントやプライマーが必要です。

注2：木の材質等によるはがれ、割れを生じることがありますので、事前に試し塗りなどし確認してください。

注3：十分な脱脂とペーパーなどのよる足付けを行ってください。

塗料性状

製品名	色彩	光沢	容量	標準塗付量	希釈剤	希釈率（重量比）
ダイナロックⅢ	各色	つや有り～つや消し	15kg・3kg	0.11～0.13 kg/m ² ・回	塗料用シンナー	ハケ・ローラー：5～15% エアレス：10～20%

注…性状の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。被塗物の形状、素材、塗装方法などによって多少異なります。

関連下塗り塗料

品番	品名（色彩・タイプ）	容量	品番	品名（色彩・タイプ）	容量
032-2106	ビニロックエラストックフィラーⅢ	16kg	033-1179	ロックカチオンシーラーマルチⅢ(透明)	15kg
032-2001	ロックSBフィラー	15kg	033-1160	ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト	15kg
061-1540	サビカットⅡ	赤サビ色	033-8150	エポシーラーマルチ	14kg
061-1541		グレー	051-1531	ロック木部用 マルチ下塗り	ホワイト
061-1542		ホワイト	051-1532		チョコレート
061-1544		ブラック	051-1533		ブラック

注：関連下塗り塗料の詳細な使用方法については、各々のカタログをご参照ください。

標準塗装仕様

1 コンクリート、モルタルなど外装材の塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び 希釈率 (%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね 可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、フクレ部分等は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具を用いて完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄等で除去し、乾燥した清浄面とする。					
下塗り	032-2106 ビニロックエラスティックフィラーⅢ ^(注1) 他	水	ローラー : 5~10 エアレス : 5~10 砂骨ローラー : 1~ 5	1	0.3~0.5 0.8~1.5	8時間以上
上塗り	018ライン ダイナロックⅢ 指定色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	12時間以上

2 鉄部、非鉄金属部の塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び 希釈率 (%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね 可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、サビなどは電動工具、手工具で除去する。チョーキングした面、汚れ、じんあいなどはサンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	061ライン サビカットⅡ 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 0~10 エアレス : 10~15	1	0.12~0.14	4時間以上 7日以内
上塗り	018ライン ダイナロックⅢ 指定色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	12時間以上

3 コンクリート、モルタルなどの平滑仕上げ（新設）

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び 希釈率 (%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね 可能時間 (23℃)
素地調整	エフロレッセンス、レイトランス、ゴミ、汚れなど付着物を完全に除去し、乾いた清浄な面とする。(含水率10%以下、pH9.5以下)					
^(注3) 下塗り	033-1179 ロックカチオンシーラーマルチⅢ	水	ハケ、ローラー : 0 エアレス : 0 (通常不要)	1	0.07~0.13	3時間以上
上塗り	018ライン ダイナロックⅢ 指定色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	12時間以上

4 木部^(注2)の平滑仕上げ（新設）

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び 希釈率 (%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね 可能時間 (23℃)
素地調整	オービタルサンダーでP180~P240ペーパーを用い、汚れ、付着物、ケバだちを除去して平滑な面にする。木のヤニは削り取るか又は焼きゴテで処理し、揮発油で拭き取る。節およびその周辺はセラックニスで節止めを行い、穴埋めの必要なときは、ロックポリパテで穴埋めを行う。					
下塗り	051ライン ロック木部用マルチ下塗り 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	1	0.12~0.20	4時間以上 7日以内
上塗り	018ライン ダイナロックⅢ 指定色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	12時間以上

(注1) 下塗り塗料の塗装用具はローラー、エアレス、砂骨ローラーの他にリシガン、タイルガンも使用できます。

窯業系サイディングボード面には 032-2001 ロック SB フィラーも使用できます。

(注2) 木部の塗装については木の性質などによりハガレ、ワレを生ずることがありますので、事前に試し塗りなどを実施し確認してください。

(注3) 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。下塗り塗料は他に 033-1160 ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト、033-8150 エポシーラーマルチ (透明) もあります。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。被塗物の形状、素材、塗装方法などによって多少異なります。

※上記仕様に記載されている各種下塗り塗料の詳細な使用方法、注意事項は、専用カタログもしくは製品説明書をご覧ください。

施工上の注意事項

- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 気温が低いときや湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温 5℃以下、湿度 85%以上のでの塗装は避けてください。
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 塗料全体をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ・ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なることがあります。
- 作業能率の低下および塗りムラの原因になるため、スプレーノズルの先端は時々洗浄してください。
- 希釈には必ず塗料用シンナーを使用してください。他種のシンナーを使用すると塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また必要以上に希釈するとたれや色分かれの原因になります。
- つやの調整は、被塗物の形状、状態、塗装膜厚や塗色などにより、実際のつやと少し違って見える場合があります。あらかじめ試し塗りを実施し確認してください。また塗り継ぎや補修の際につやむらが出やすいため、面を切って通しで塗装してください。
- つや消しの場合、色彩によっては底つやが残ることがあります。
- 調色には必ず 018 ライン ダイナロックⅢ原色または、ロックトーンカララント 3000 (ベースの 3%以内) を使用してください。
- ロックトーンカララント 3000 で調色する場合、フラットベースの使用は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮われなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがあります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマー S」を塗装してください。塗膜の汚染・剥離・はがれ、割れの低減が図れますが、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りすることをお奨めします。なお、ノンブリードタイプのシーリング材に「ロックノンタックプライマー S」は塗装しないでください。
- エマルションパテの外部での使用は避けてください。
- 外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- 塗装面の取り合い等で可塑剤が多く含まれる建材 (塩ビ鋼板、ラミネート鋼板、プラスチック、ゴムパッキン、塩ビクロスなど) への直接の塗装は塗膜が軟化することがあり避けてください。また、これらの素材に塗膜が接触・付着しないように注意してください。
- 蓄熱されやすい建材 (軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他の断熱性が付与された建材など) を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 笠木、天端など長時間水の滞留する箇所では塗膜の白化、ふくれなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増す打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えを行ってください。
- サイディングボードは種類により塗料が付着しにくいものがありますのでご注意ください。
- 内部の塗り替えで旧塗膜が合成樹脂塗料ペイントやフタル酸樹脂エナメルなどの油性系の場合、ペーパーがけを行ってください。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離になることがあります。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率 10%以下、pH9.5 以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 屋外セメント系素地に段差・巣穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。
- ビニロックエラストックフィラーⅢを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りを行い、その後ならし塗りし、塗り継ぎにむらが生じないようにしてください。
- 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- サビについては完全に除去後、削りカス (サビ、鉄くず) を完全に除去してください。サビの発生原因となります。
- シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がないので、金属製の部分が錆びている場合、錆などを除去、クレンシ、適性のあるサビ止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後、適性のあるサビ止め塗料で補修塗装を行ってから下塗り塗装してください。
- 木の材質、下地の状況によっては割れ、はがれが生じることがありますので、事前に試し塗りを実施し確認してください。
- 木部塗装で釘頭には、サビ止め塗料 (サビカットⅡ) を塗装してください。釘頭が錆びている場合は、サンドペーパーを用いて錆びを除去してからサビカットⅡを塗装してください。
- 新設の木部の場合は、含水率 15%以下で行ってください。また節止めは必ずセラックニスで塗装してください。
- カウンター、テーブル、いす、棚、床等への塗装は避けてください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- 塗色が濃色の場合、塗膜を強くこすると色落ちすることがありますので注意してください。
- 汚れたウエスをまとめて置いたり、スプレードストなどがたまってくと発熱し、自然発火のおそれがあります。使用済みのウエス、塗料かす、スプレードスト等は廃棄するまで水を張った容器に保管してください。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜 (弾性リシン、弾性スタッコ) やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 旧塗膜は弾性型塗料でビニロックエラストックフィラーⅢを使用して塗替えを行う場合、後の工程で吹付タイル (硬質タイル) は使用しないでください。クラックが生じる場合がありますので弾性系の塗材を使用してください。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- 塗り重ね可能時間 (乾燥時間) は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所へお問い合わせください。
- この塗料はホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆タイプです。F☆☆☆☆以外の材料 (被塗物、素地を含む) を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆でなくなることがありますので注意してください。
- 上塗りに鮮やかなエロース、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠れ性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色 (近似色) で下塗りした後、上塗り塗装してください。
- 低汚染性については被塗物の種類や建物の形状により、また、施工後特に塗膜が十分に乾燥する前、もしくは乾燥して初期の段階で天候不良であった場合、その効果が十分に発揮されない場合があります。
- 防藻・防カビ効果は繁殖を抑制するため、既に発生している被塗面には、下地処理として除去および防藻・防カビ処理剤などで殺菌処理した後、塗装してください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- 取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート (SDS) をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上及び取扱上の注意

- 〔製品の危険・有害性〕
- 引火性の液体である。
 - 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になるおそれがある。
 - 目、皮膚、粘膜等に対し刺激性がある。
 - スプレードストや塗料の付着したウエスなどは発熱し、自然発火する恐れがある。
- 〔救急処置〕
- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
 - 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。
- 〔取扱注意事項〕
- 取扱は引火源のないところでを行い、特に静電気が発生するような衣服、取扱は避けてください。
 - 取扱作業所には、局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
 - 溶剤蒸気やスプレードストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。

- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋 (耐溶剤性)、長袖作業着等を着用してください。
 - 取扱後は手洗い及びうがいを十分にを行い、作業着等に付着した汚れをよく落としてください。
 - 使用済みのウエス、塗料かす、スプレードストなどは、廃棄するまで水をはった容器に保管してください。
 - よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない場所に保管してください。
 - 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
 - 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
 - 指定された以外の製品と混合しないでください。
 - 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 〔施工後の安全性について〕
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
 - 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ベンキ塗料たてであるなどの看板を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにご配慮願います。
- 安全データシート (SDS) をよく読んでから取り扱ってください。

ロックペイント株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂 2-37-2
TEL (03) 3640-6000 FAX (03) 3640-9000

札幌営業所 〒003-0011 札幌市白石区中央一条 4-3-48
TEL (011) 812-2761 FAX (011) 812-9304

仙台営業所 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代 2-3-11 凌正ビル 201
TEL (022) 349-8677 FAX (022) 283-3255

西関東営業所 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本 1-15-16
TEL (042) 790-3111 FAX (042) 700-3112

大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島 3-1-47
TEL (06) 6473-1650 FAX (06) 6473-1000

名古屋営業所 〒454-0059 名古屋市 中川区 福川町 1-1
TEL (052) 351-6500 FAX (052) 361-7433

岡山営業所 〒701-1134 岡山市北区 三和 1000-34
TEL (086) 294-1201 FAX (086) 294-6966

福岡営業所 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜 3-2-1
TEL (092) 962-0661 FAX (092) 963-1241

URL <https://www.rockpaint.co.jp>

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店